

小出重幸 略歴 2018年01月

科学ジャーナリスト、日本科学技術ジャーナリスト会議（JASTJ）理事、前会長。
政策研究大学院大学（GRIPS）客員研究員、昭和薬科大学非常勤講師
元読売新聞編集委員

1951年東京都生まれ。1976年北海道大学理学部高分子学科卒。読売新聞社編集局入社。東北総局（仙台）、社会部、生活情報部、科学部記者、科学部長、編集委員として、地球環境、医療、医学、原子力、基礎科学などを担当。2011年退社。インペリアル・カレッジ・ロンドン客員研究員（科学コミュニケーション）。2013年5月からJASTJ会長。
元早稲田大学大学院客員教授、お茶の水女子大非常勤講師。

主な著作に、

「夢は必ずかなう 物語 素顔のビル・ゲイツ」（中央公論新社）、
「いのちと心」（共著 読売新聞社）、
「ドキュメント・もんじゅ事故」（共著 ミオシン出版）、
「環境ホルモン 何がどこまでわかったか」（共著 講談社）、
「日本の科学者最前線」（共著 中央公論新社）、
「ノーベル賞10人の日本人」（同）、
「地球と生きる 緑の化学」（同）、
「新訂 新聞学」（共著 日本評論社）、
「リスクの社会心理学」（共著 有斐閣）

など。

趣味；クライミング、山スキー、チェンバロ、カヌー、読書、禅……